

■客員研究員研究

アウンサンスー^チの思想と行動

伊野 憲治 著

(財)アジア女性交流・研究フォーラム 客員研究員



財団
法人
KFAW

アジア女性交流・研究フォーラム

目 次

まえがき	1
本書での国名表記	2
第Ⅰ部 アウンサンスー ^チ と民主化運動	
第1章 アウンサンスー ^チ の略歴	5
I 将軍の娘	5
II インドへ	6
III 欧米、日本、再びインドへ	8
第2章 民主化運動の発生・展開とアウンサンスー ^チ	12
I 三月事件	12
II 六月事件	13
III 8888へ向けて	15
IV 運動の大衆化とアウンサンスー ^チ	18
V マウンマウン政権下の学生とアウンサンスー ^チ	19
VI 暫定政権構想の挫折とアウンサンスー ^チ	24
VII クーデター	28
第3章 NLDの結党からアウンサンスー ^チ の自宅軟禁まで	30
I 国民民主連盟（NLD）	30
II アウンサンスー ^チ の活動の本格化	31
III 「権力への反抗」と自宅軟禁	39
IV 自宅軟禁中の生活	42
第4章 アウンサンスー ^チ 自宅軟禁中のミャンマー	45
I アウンサンスー ^チ の被選挙権剥奪	45
II 総選挙の実施	46
III 政権移譲問題	47
IV 「布告1/90号」の発令とNLDの弱体化	49
V 経済発展と制憲国民会議	52
第5章 自宅軟禁解放後のアウンサンスー ^チ	56
I アウンサンスー ^チ の解放	56
II 制憲国民会議ボイコット	57
III ASEAN加盟とアウンサンスー ^チ 集会の実力阻止	59
IV SPDCとCRPPとの対立	60

第II部 アウンサンスー^チーの思想

第1章 アウンサンスー ^チ ーの主張の特質	66
I 自宅軟禁前の主張の特質	67
II 自宅軟禁解放後の変化	71
第2章 アウンサンスー ^チ ー思想のバックボーン	75
I アウンサンスー ^チ ーの現状分析	75
II 変革への思想	76
III 思想の核心としての仏教	83
IV 思想と行動の一致	91
むすびにかえて	93
注記	95
参考文献目録	115